

番号	協議事項（事前意見より）	事務局としての整理・考え方
1	資料①P 1 市民アンケート 項目イ DVを受けた際の相談先として「民間の専門家や専門機関」が3.2%→6.7%と増加しているのは良い傾向といえるが、P 2 ⑤ 基本目標Ⅰの評価「市民のDVへの理解を深めることができた」と評価できるのか、どの部分からそう評価したのか。 資料①P 1 市民アンケート 項目ウ DVを相談しなかった理由は「相談することではないと思った」「DVの認識がなかった」は減少しており、良い傾向であるが、「我慢すればよい」「誰に相談してよいのかわからなかった」「仕事に支障が出る」は増加しており課題がある。	各部局において、計画に定めた取組が一定実施できたことに加え、市民アンケートの結果において、「DVを知識として知っている」と回答した割合は前回より増加しているとともに、DV（デートDV）を「受けたことがある」、「ふるったことがある」と回答した割合は減少しているなど、アンケート結果が一定改善していることからの評価である。 しかしながら、ご指摘のとおり課題もあることから、資料①P 2 ⑥のとおり、次期計画では現在の取組を踏襲し、更なる取組を推進するとともに、当事者加え第三者（企業も含む）のDVに関する理解を深める啓発を行うことで、必要とする人が適切に相談窓口につながるようにしていきたいと考える。
2	資料①P 3 基本目標Ⅰ 施策目標1 ④デートDV防止対策の強化「◎…中学生や小学生にむけ性教育を通した啓発等を検討」では現在「命の授業」を外部講師に依頼し、実施しているが、今どんな内容でされており、そこにどう組み込むか調整が必要だと思われる。	「命の授業」は、命の尊さの理解を深め、将来健全な子育てに活かせるよう、助産師を講師として講演会、妊婦体験及び育児体験を市内全ての中学校（主に3年生）を対象に毎年実施しており、要望があれば小学校へも赤ちゃん人形や妊婦体験キットの貸出を行っている。 また、低年齢からの性教育の必要性と正しい理解を広く市民に周知するため、市民団体により市内各地で性に関する絵本や書籍の展示会や性に関する絵本の読み聞かせが実施されている。今年度からは、性に関する絵本や書籍の展示会をDV防止啓発のロビー展とあわせて実施する予定である。 なお、「命の授業」とデートDV防止に関する理解啓発の連携は効果的であると考えてるので、連携手法等について検討していきたいと考える。
3	資料①P 3 基本目標Ⅰ 施策目標1 ④デートDV防止対策の強化「◎デートDVに関するポスターを作成し、学校や若者が多く利用する場所への啓示を依頼」としているが、できるだけ早く作成し掲示していただきたい。	デートDVに関する市独自のポスターは既に作成しており、公共施設や民間施設に掲示しているが、資料①P 2 ⑤のとおり、企業や自治会等と連携した啓発活動が課題となっている。今後においては、ポスターの掲示等を企業や自治会等へ依頼していくとともに、第三者から相談窓口への誘導を促せるよう、啓発内容や手法も工夫していきたいと考える。
4	資料①P 3 基本目標Ⅱ 施策目標2 ⑤相談窓口の周知「◎相談相手となる第三者から積極的かつ適切に当事者を相談窓口へ誘導できるようにする啓発」下線部分について、「できるよう啓発する」に修正してはどうか。	当文書は本文の内容をできる限り簡略化させるため、体言止めとしているが、ご指摘いただいたとおり内容が分かりにくいことから、「第三者による相談窓口への積極的かつ適切な誘導を促すための啓発」に修正する。なお、概要版も同内容となっていることから、あわせて修正する。